

# JPモルガン・グランド・アセット・アロケーション

## 第 1 期 運用報告書（全体版）

（決算日：2026年5月28日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPモルガン・グランド・アセット・アロケーション」は、去る5月28日に第1期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界各国の債券および株式を実質的な主要投資対象とすることにより、中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 当該投資信託の概要と仕組み

|                 |                                                                                          |                                                                                                                                     |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類            | 追加型投信／内外／資産複合                                                                            |                                                                                                                                     |
| 信託期間            | 2025年5月29日から2045年5月29日（休業日の場合は翌営業日）までです。                                                 |                                                                                                                                     |
| 運用方針            | マザーファンドへの投資を通じ、日本を含む世界各国の債券および株式を実質的な主要投資対象とすることにより、中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。          |                                                                                                                                     |
| 主要投資<br>（運用）対象  | 当ファンド                                                                                    | GIMグランド・アセット・アロケーション・マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券を主要投資対象とします。                                                                             |
|                 | マザーファンド                                                                                  | 日本を含む世界各国の債券、株式を主要投資対象とします。なお、債券および株式への投資は、上場投資信託証券を通じて行う場合があります。また、不動産等、金または不動産等もしくは金を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とする上場投資信託証券に投資する場合があります。 |
| 組入制限および<br>運用方法 | 当ファンド                                                                                    | ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。                                |
|                 | マザーファンド                                                                                  | 各資産への投資は、多様な運用戦略の中から選出して行います。外貨建資産について、市場見通しに基づき、適時為替ヘッジを行う場合があります。株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。                      |
| 分配方針            | 毎年5月28日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 |                                                                                                                                     |

（注）当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

（注）「GIMグランド・アセット・アロケーション・マザーファンド（適格機関投資家専用）」は「グランド・アセット・アロケーション・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

＜お問い合わせ先＞

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス [am.jpmorgan.com/jp](http://am.jpmorgan.com/jp)

TEL 03-6736-2350（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○設定以来の運用実績

| 決 算 期                | 基 準    | 価 額 |     |     | 投 資 信 託 組 入 比 率 | 純 資 産 額 |
|----------------------|--------|-----|-----|-----|-----------------|---------|
|                      |        | 税 分 | 込 配 | み 金 |                 |         |
| (設定日)                | 円      |     |     | 円   | %               | 百万円     |
| 2025年 5 月 29 日       | 10,000 |     |     | —   | —               | 2,713   |
| 1 期 (2026年 5 月 28 日) | 11,228 |     |     | 0   | 97.9            | 12,837  |

(注) 設定日の欄には、設定時の数値を記載しております。  
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。  
(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同じ)。  
(注) 投資信託証券とは投資信託受益証券及び投資証券の総称です(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日          | 基 準    | 価 額 |      | 投 資 信 託 組 入 比 率 |
|----------------|--------|-----|------|-----------------|
|                |        | 騰 落 | 率    |                 |
| (設定日)          | 円      |     | %    | %               |
| 2025年 5 月 29 日 | 10,000 |     | —    | —               |
| 5 月 末          | 10,015 |     | 0.2  | 75.4            |
| 6 月 末          | 10,224 |     | 2.2  | 95.9            |
| 7 月 末          | 10,344 |     | 3.4  | 96.7            |
| 8 月 末          | 10,434 |     | 4.3  | 96.8            |
| 9 月 末          | 10,583 |     | 5.8  | 95.7            |
| 10 月 末         | 10,780 |     | 7.8  | 98.3            |
| 11 月 末         | 10,778 |     | 7.8  | 95.9            |
| 12 月 末         | 10,834 |     | 8.3  | 96.8            |
| 2026年 1 月 末    | 10,918 |     | 9.2  | 95.7            |
| 2 月 末          | 11,105 |     | 11.1 | 93.2            |
| 3 月 末          | 10,589 |     | 5.9  | 82.5            |
| 4 月 末          | 11,013 |     | 10.1 | 99.3            |
| (期 末)          |        |     |      |                 |
| 2026年 5 月 28 日 | 11,228 |     | 12.3 | 97.9            |

(注) 設定日の欄には、設定時の数値を記載しております。  
(注) 騰落率は設定日比です。  
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

## 投資環境

### ◎主要株式市況

◆円ベースで、先進国株式市場、新興国株式市場共に上昇しました。

- 設定時から2026年2月にかけては、各国と米国との関税交渉に進展が見られたことや良好な企業決算、AI(人工知能)への更なる期待の高まりなどを受けて、投資家の景況感が改善し、先進国株式市場、新興国株式市場共に概ね堅調に推移しました。
- その後、中東情勢が緊迫化し、原油価格の急激な変動と世界的な金融緩和期待の見直しが市場に広範な下落圧力をもたらし、先進国株式市場、新興国株式市場共に下落しました。
- 4月以降は、中東紛争の一時停戦などを受けて、地政学的な不確実性が幾分低下したほか、好調な企業業績も相まってAI関連銘柄が選好され、先進国株式市場、新興国株式市場共に上昇しました。

\* 先進国株式市場の動向は、MSCIワールド・インデックス(配当込み、円ベース)を使用しています。新興国株式市場の動向は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)を使用しています。MSCIワールド・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

### ◎主要債券市況

◆円ヘッジベースで、世界投資適格債券市場は概ね横ばいとなり、ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- 世界投資適格債券市場は、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げなどが支援材料となった一方で、中東情勢の緊迫化に伴うインフレ上昇懸念が重石となり、期を通じて見ると概ね横ばいとなりました。
- ハイ・イールド債券市場は、健全な企業業績や相対的に高い利回りなどが後押しする形で上昇しました。AI需要を背景とした好調な企業業績が投資家のリスク選好的な姿勢につながりました。

\* 世界投資適格債券市場の動向は、ブルームバーグ・グローバル総合・インデックス(配当込み、円ヘッジベース)を使用しています。ハイ・イールド債券市場の動向は、ブルームバーグ・世界ハイ・イールド・インデックス(配当込み、円ヘッジベース)を使用しています。「Bloomberg®」、ブルームバーグ・グローバル総合・インデックスおよびブルームバーグ・世界ハイ・イールド・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、J.P.モルガン・アセット・マネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはJ.P.モルガン・アセット・マネジメントとは提携しておらず、また、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

### ◎為替市況

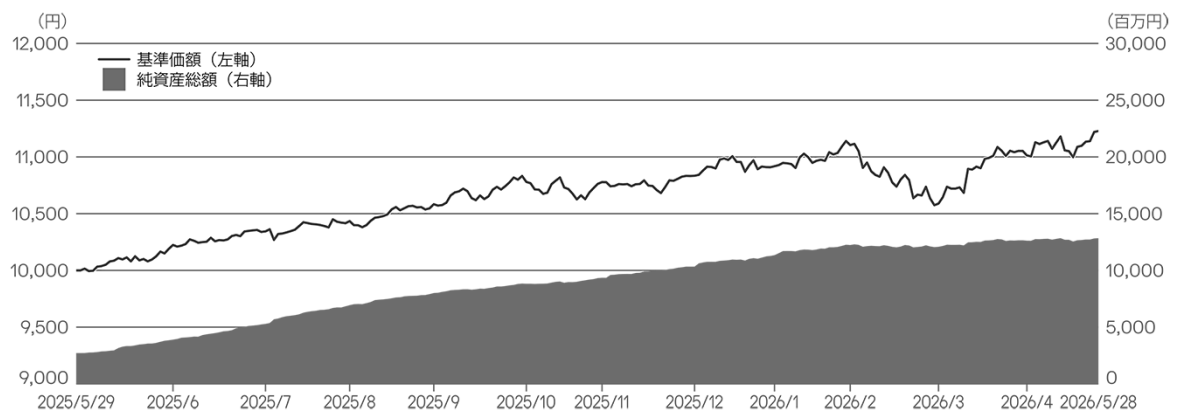
為替市場では、米ドルやユーロなど多くの通貨が円に対して上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

○当ファンド: 基準価額の騰落率は+12.3%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+13.3%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。(以下同じ)。

### ◎基準価額の主な変動要因

当期は、ETF(上場投資信託)を通じて投資を行い、適時為替ヘッジを行ったマザーファンドにおいて、投資対象である株式および債券への投資などがプラスに寄与しました。株式ではグローバル株式や北米株式がプラスに寄与し、債券では世界投資適格債券などがプラスに寄与しました。

### ◎ポートフォリオについて

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

#### ○マザーファンド

当期末において、株式の組入比率は基本資産配分(40%)を上回った一方、債券の組入比率は基本資産配分(60%)を下回りました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、無分配としました。留保益の運用につきましては、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

| 項 目       | 第1期                       |
|-----------|---------------------------|
|           | 2025年5月29日～<br>2026年5月28日 |
| 当期分配金     | —                         |
| (対基準価額比率) | — %                       |
| 当期の収益     | —                         |
| 当期の収益以外   | —                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,228                     |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆2026年のグローバル経済は、ホルムズ海峡が今後数週間で再開されると仮定すれば、潜在成長率並みの経済成長を維持すると見ているものの、ダウサイドリスクが高まっていることも認識しています。主要中央銀行の直近会合では、中東紛争の影響を見極めるため、短期的には忍耐強く対応するとの見方を示唆したものの、米国ではインフレ上振れリスクが成長下振れリスクを上回ると見ており、FRBが2026年政策金利を据え置く可能性が高まっていると考えます。
- ◆先月のリスク回避から一転し、株式を中心としたリスク選好的なポートフォリオとしています。これは、地政学的な対立が限定的かつ短期間で収束した場合、グローバル経済は堅調に推移し、インフレ動向も上下双方向の可能性が高まると見ているためです。地域別では、米国が最も魅力的と見ており、欧州については引き続き前向きですが、他地域と比べてエネルギー価格上昇の影響が大きく、相対的に業績成長も弱いことから、やや慎重に見ています。日本は構造的なリフレーションや企業のガバナンス改革の追い風を受けて魅力的と見ているほか、新興国市場は中国が世界的な石油ショックに対して比較的耐性を示していることや、アジア全体でのAI技術発展の恩恵を受けると見えています。
- ◆債券については、全体としてデュレーションは中立を維持しています。債券市場はエネルギー価格やインフレの影響を受けると見ており、エネルギー価格は当面、紛争前の水準に戻る可能性が低いと考えています。市場はFRBの利下げを織り込まず、金融政策は2027年半ばまで据え置く予想されています。FRBによる利下げが行われる可能性も残っているものの、追加の財政支出とインフレ高止まりを背景に、金利は上昇リスクが相対的に高いと見えています。ハイ・イールド債券については、クレジット・スプレッドが中東情勢悪化により一時的に拡大した後、再びタイトな水準まで縮小しているものの、最終利回りの観点から慎重ながらも前向きに見ています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

主として日本を含む世界各国の債券および株式に分散して投資し、長期的な市場見通しに基づく基本資産配分を軸とし、市場環境等に応じて当該資産配分の比率を機動的に随時調整して運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年5月29日～2026年5月28日)

| 項 目                   | 当 期      |            | 項 目 の 概 要                                                                  |
|-----------------------|----------|------------|----------------------------------------------------------------------------|
|                       | 金 額      | 比 率        |                                                                            |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>130 | %<br>1.226 | (a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率                                                 |
| ( 投 信 会 社 )           | ( 64 )   | ( 0.605 )  | 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| ( 販 売 会 社 )           | ( 64 )   | ( 0.605 )  | 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 2 )    | ( 0.016 )  | 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価             |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 1        | 0.007      | (b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$             |
| ( 投 資 信 託 証 券 )       | ( 1 )    | ( 0.007 )  | 有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料                              |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税     | 0        | 0.000      | (c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{〔期中の有価証券取引税〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$             |
| ( 投 資 信 託 証 券 )       | ( 0 )    | ( 0.000 )  | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金                                                     |
| (d) そ の 他 費 用         | 6        | 0.056      | (d) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$                 |
| ( 保 管 費 用 )           | ( 5 )    | ( 0.050 )  | 保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用                              |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 1 )    | ( 0.006 )  | 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用                                      |
| ( そ の 他 )             | ( 0 )    | ( 0.000 )  | その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用                                                     |
| 合 計                   | 137      | 1.289      |                                                                            |
| 期中の平均基準価額は、10,634円です。 |          |            |                                                                            |

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

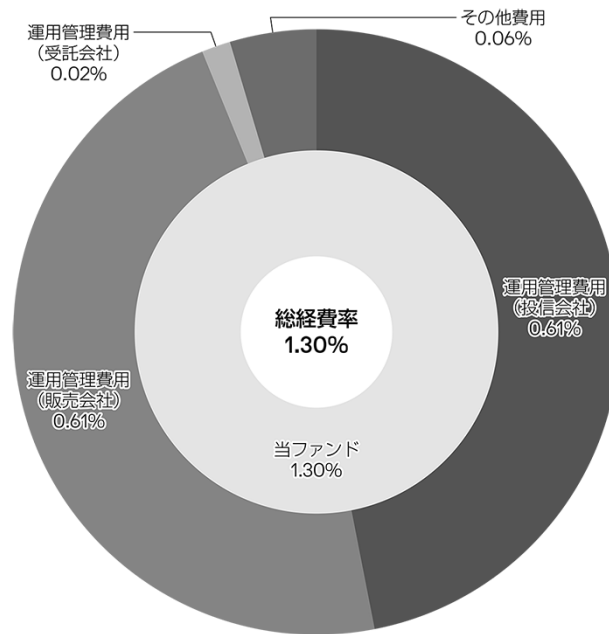
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.30%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年5月29日～2026年5月28日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄                           | 設 定        |            | 解 約     |         |
|-------------------------------|------------|------------|---------|---------|
|                               | 口 数        | 金 額        | 口 数     | 金 額     |
|                               | 千口         | 千円         | 千口      | 千円      |
| グラント・アセット・アロケーション・マザーファンド受益証券 | 12,033,870 | 12,585,868 | 656,958 | 720,642 |

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年5月29日～2026年5月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年5月29日～2026年5月28日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年5月29日～2026年5月28日)

| 設定時<br>(元本) | 当期設定<br>元本 | 当期解約<br>元本 | 期末残高<br>(元本) | 取 引 理 由     |
|-------------|------------|------------|--------------|-------------|
| 百万円<br>860  | 百万円<br>—   | 百万円<br>—   | 百万円<br>860   | 当初設定時における取得 |

## ○組入資産の明細

(2026年5月28日現在)

## 親投資信託残高

| 銘                             | 柄          | 当 期 末 |            |
|-------------------------------|------------|-------|------------|
|                               |            | 口 数   | 評 価 額      |
| グラント・アセット・アロケーション・マザーファンド受益証券 |            | 千口    | 千円         |
|                               | 11,376,912 |       | 12,893,454 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2026年5月28日現在)

| 項 目                           | 当 期 末      |       |
|-------------------------------|------------|-------|
|                               | 評 価 額      | 比 率   |
|                               | 千円         | %     |
| グラント・アセット・アロケーション・マザーファンド受益証券 | 12,893,454 | 100.0 |
| コール・ローン等、その他                  | 2,264      | 0.0   |
| 投資信託財産総額                      | 12,895,718 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) グラント・アセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,525,471千円)の投資信託財産総額(13,011,789千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝159.66円、1ユーロ＝185.46円、1英ポンド＝214.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月28日現在)

| 項 目                                | 当 期 末           |
|------------------------------------|-----------------|
|                                    | 円               |
| (A) 資産                             | 12,895,718,376  |
| グラント・アセット・アロケーション・マザーファンド受益証券(詳細額) | 12,893,454,490  |
| 未収入金                               | 2,263,886       |
| (B) 負債                             | 58,296,710      |
| 未払解約金                              | 2,263,886       |
| 未払信託報酬                             | 55,503,830      |
| その他未払費用                            | 528,994         |
| (C) 純資産総額(A－B)                     | 12,837,421,666  |
| 元本                                 | 11,433,147,017  |
| 次期繰越損益金                            | 1,404,274,649   |
| (D) 受益権総口数                         | 11,433,147,017口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D)                    | 11,228円         |

|           |                |
|-----------|----------------|
| <注記事項>    |                |
| 期首元本額     | 2,713,322,448円 |
| 期中追加設定元本額 | 9,352,903,684円 |
| 期中一部解約元本額 | 633,079,115円   |

|                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。 |             |
| 未払受託者報酬                              | 949,721円    |
| 未払委託者報酬                              | 54,554,109円 |

○損益の状況 (2025年5月29日～2026年5月28日)

| 項 目            | 当 期            |
|----------------|----------------|
|                | 円              |
| (A) 有価証券売買損益   | 994,690,781    |
| 売買益            | 1,070,000,462  |
| 売買損            | △ 75,309,681   |
| (B) 信託報酬等      | △ 86,634,838   |
| (C) 当期損益金(A＋B) | 908,055,943    |
| (D) 追加信託差損益金   | 496,218,706    |
| (売買損益相当額)      | ( 496,218,706) |
| (E) 計(C＋D)     | 1,404,274,649  |
| (F) 収益分配金      | 0              |
| 次期繰越損益金(E＋F)   | 1,404,274,649  |
| 追加信託差損益金       | 496,218,706    |
| (配当等相当額)       | ( 3,807,056)   |
| (売買損益相当額)      | ( 492,411,650) |
| 分配準備積立金        | 908,055,943    |

|                                                                                                                                                                 |             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。                                                                                                                      |             |
| (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。                                                                                                               |             |
| (注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。                                                                                             |             |
| (注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。                                                                                     |             |
| (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(39,214,080円)、費用控除後の有価証券等損益額(868,841,863円)、および信託約款に規定する収益調整金(496,218,706円)より分配対象収益は1,404,274,649円(10,000口当たり1,228円)ですが、当期に分配した金額はありません。 |             |
| (注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。                                                                                                                           |             |
| 受託者報酬                                                                                                                                                           | 1,480,597円  |
| 委託者報酬                                                                                                                                                           | 84,625,247円 |

○分配金のお知らせ

|                |    |
|----------------|----|
| 1万口当たり分配金(税込み) | 0円 |
|----------------|----|

|                                                                                                                                                                   |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>課税上の取扱いについて</b>                                                                                                                                                |  |
| ●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。 |  |
| ※上記は2026年5月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。                                                                            |  |

- ＜約款変更のお知らせ＞
- ・2026年4月1日付で、一般社団法人 投資信託協会と一般社団法人 日本投資顧問業協会は合併し、一般社団法人 投資信託協会は、一般社団法人 資産運用業協会に名称が変更されたため、信託約款に所要の変更を行っております。

# GIMグランド・アセット・アロケーション・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 1 期 運用報告書

(決算日: 2026年5月28日)  
(計算期間: 2025年5月29日～2026年5月28日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|             |                                                                                                                                     |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類     | 親投資信託                                                                                                                               |
| 運 用 方 針     | 日本を含む世界各国の債券および株式を主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的とします。                                                                         |
| 主 要 投 資 対 象 | 日本を含む世界各国の債券、株式を主要投資対象とします。なお、債券および株式への投資は、上場投資信託証券を通じて行う場合があります。また、不動産等、金または不動産等もしくは金を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とする上場投資信託証券に投資する場合があります。 |
| 主 な 運 用 制 限 | 株式への投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。                                                                                     |

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMグランド・アセット・アロケーション・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「グランド・アセット・アロケーション・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○設定以来の運用実績

| 決 算 期          | 基 準    | 価 額  |      | 投 資 信 託 証券 組 入 比 | 純 資 産 額 |
|----------------|--------|------|------|------------------|---------|
|                |        | 騰 落  | 中 率  |                  |         |
| (設定日)          | 円      |      | %    | %                | 百万円     |
| 2025年5月29日     | 10,000 | —    | —    | —                | 2,713   |
| 1期(2026年5月28日) | 11,333 | 13.3 | 97.5 | 12,893           |         |

(注) 設定日の欄には、設定時の数値を記載しております。

(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同じ)。

(注) 投資信託証券とは投資信託受益証券及び投資証券の総称です(以下同じ)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日      | 基 準    | 価 額  |      | 投 資 信 託 証券 組 入 比 | 純 資 産 額 |
|------------|--------|------|------|------------------|---------|
|            |        | 騰 落  | 率    |                  |         |
| (設定日)      | 円      |      | %    | %                |         |
| 2025年5月29日 | 10,000 | —    | —    | —                |         |
| 5月末        | 10,015 | 0.2  | 75.4 |                  |         |
| 6月末        | 10,232 | 2.3  | 95.9 |                  |         |
| 7月末        | 10,361 | 3.6  | 96.6 |                  |         |
| 8月末        | 10,459 | 4.6  | 96.6 |                  |         |
| 9月末        | 10,616 | 6.2  | 95.5 |                  |         |
| 10月末       | 10,822 | 8.2  | 98.0 |                  |         |
| 11月末       | 10,828 | 8.3  | 95.6 |                  |         |
| 12月末       | 10,893 | 8.9  | 96.7 |                  |         |
| 2026年1月末   | 10,986 | 9.9  | 95.5 |                  |         |
| 2月末        | 11,182 | 11.8 | 93.0 |                  |         |
| 3月末        | 10,673 | 6.7  | 82.2 |                  |         |
| 4月末        | 11,108 | 11.1 | 99.0 |                  |         |
| (期 末)      |        |      |      |                  |         |
| 2026年5月28日 | 11,333 | 13.3 | 97.5 |                  |         |

(注) 騰落率は設定日比です。

## 投資環境

### ◎主要株式市況

◆円ベースで、先進国株式市場、新興国株式市場共に上昇しました。

- 設定時から2026年2月にかけては、各国と米国との関税交渉に進展が見られたことや良好な企業決算、AI(人工知能)への更なる期待の高まりなどを受けて、投資家の景況感が改善し、先進国株式市場、新興国株式市場共に概ね堅調に推移しました。
- その後、中東情勢が緊迫化し、原油価格の急激な変動と世界的な金融緩和期待の見直しが市場に広範な下落圧力をもたらし、先進国株式市場、新興国株式市場共に下落しました。
- 4月以降は、中東紛争の一時停戦などを受けて、地政学的な不確実性が幾分低下したほか、好調な企業業績も相まってAI関連銘柄が選好され、先進国株式市場、新興国株式市場共に上昇しました。

\* 先進国株式市場の動向は、MSCIワールド・インデックス(配当込み、円ベース)を使用しています。新興国株式市場の動向は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)を使用しています。MSCIワールド・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

### ◎主要債券市況

◆円ヘッジベースで、世界投資適格債券市場は概ね横ばいとなり、ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- 世界投資適格債券市場は、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げなどが支援材料となった一方で、中東情勢の緊迫化に伴うインフレ上昇懸念が重石となり、期を通じて見ると概ね横ばいとなりました。
- ハイ・イールド債券市場は、健全な企業業績や相対的に高い利回りなどが後押しする形で上昇しました。AI需要を背景とした好調な企業業績が投資家のリスク選好的な姿勢につながりました。

\* 世界投資適格債券市場の動向は、ブルームバーグ・グローバル総合・インデックス(配当込み、円ヘッジベース)を使用しています。ハイ・イールド債券市場の動向は、ブルームバーグ・世界ハイ・イールド・インデックス(配当込み、円ヘッジベース)を使用しています。「Bloomberg®」、ブルームバーグ・グローバル総合・インデックスおよびブルームバーグ・世界ハイ・イールド・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、J.P.モルガン・アセット・マネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはJ.P.モルガン・アセット・マネジメントとは提携しておらず、また、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルやユーロなど多くの通貨が円に対して上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

○当ファンド:基準価額の騰落率は+13.3%となりました。



### ◎基準価額の主な変動要因

当期は、ETF(上場投資信託)を通じて投資を行い、適時為替ヘッジを行った結果、投資対象である株式および債券への投資などがプラスに寄与しました。株式ではグローバル株式や北米株式がプラスに寄与し、債券では世界投資適格債券などがプラスに寄与しました。

### ◎ポートフォリオについて

当期末において、株式の組入比率は基本資産配分(40%)を上回った一方、債券の組入比率は基本資産配分(60%)を下回りました。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

◆2026年のグローバル経済は、ホルムズ海峡が今後数週間で再開されると仮定すれば、潜在成長率並みの経済成長を維持すると見ているものの、ダウサイドリスクが高まっていることも認識しています。主要中央銀行の直近会合では、中東紛争の影響を見極めるため、短期的には忍耐強く対応するとの見方を示唆したものの、米国ではインフレ上振れリスクが成長下振れリスクを上回ると見ており、FRBが2026年政策金利を据え置く可能性が高まっていると考えます。

◆先月のリスク回避から一転し、株式を中心としたリスク選好的なポートフォリオとしています。これは、地政学的な対立が限定的かつ短期間で収束した場合、グローバル経済は堅調に推移し、インフレ動向も上下双方向の可能性が高まると見ているためです。地域別では、米国が最も魅力的と見ており、欧州については引き続き前向きですが、他地域と比べてエネルギー価格上昇の影響が大きく、相対的に業績成長も弱いことから、やや慎重に見ています。日本は構造的なリフレーションや企業のガバナンス改革の追い風を受けて魅力的と見ているほか、新興国市場は中国が世界的な石油ショックに対して比較的耐性を示していることや、アジア全体でのAI技術発展の恩恵を受けると見えています。

◆債券については、全体としてデフレーションは中立を維持しています。債券市場はエネルギー価格やインフレの影響を受けると見ており、エネルギー価格は当面、紛争前の水準に戻る可能性が低いと考えています。市場はFRBの利下げを織り込まず、金融政策は2027年半ばまで据え置く予想されています。FRBによる利下げが行われる可能性も残っているものの、追加の財政支出とインフレ高止まりを背景に、金利は上昇リスクが相対的に高いと見えています。ハイ・イールド債券については、クレジット・スプレッドが中東情勢悪化により一時的に拡大した後、再びタイトな水準まで縮小しているものの、最終利回りの観点から慎重ながらも前向きに見ています。

### ◎今後の運用方針

主として日本を含む世界各国の債券および株式に分散して投資し、長期的な市場見通しに基づく基本資産配分を軸とし、市場環境等に応じて当該資産配分の比率を機動的に随時調整して運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年5月29日～2026年5月28日)

| 項 目                   | 当 期 |         |
|-----------------------|-----|---------|
|                       | 金 額 | 比 率     |
|                       | 円   | %       |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料     | 1   | 0.007   |
| ( 投 資 信 託 証 券 )       | (1) | (0.007) |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税     | 0   | 0.000   |
| ( 投 資 信 託 証 券 )       | (0) | (0.000) |
| (c) そ の 他 費 用         | 5   | 0.050   |
| ( 保 管 費 用 )           | (5) | (0.050) |
| ( そ の 他 )             | (0) | (0.000) |
| 合 計                   | 6   | 0.057   |
| 期中の平均基準価額は、10,681円です。 |     |         |

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。  
(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。  
(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況 (2025年5月29日～2026年5月28日)

投資信託証券

| 銘柄 |                                          | 買付          |               | 売付      |         |
|----|------------------------------------------|-------------|---------------|---------|---------|
|    |                                          | 口数          | 金額            | 口数      | 金額      |
| 国内 | JPM Japan REI EQ ETF (acc)               | 口<br>67,950 | 千円<br>346,878 | 口<br>—  | 千円<br>— |
| 外国 | アメリカ                                     |             | 千米ドル          |         | 千米ドル    |
|    | JPMORGAN USD IG CORPORATE BOND-ETF       | 91,782      | 11,191        | —       | —       |
|    | JPMORGAN BETABUILDERS US TREASURY BO-ETF | 119,285     | 12,559        | 31,058  | 3,372   |
|    | JPM GL EM REI ESG UCITS-ETF              | 130,377     | 5,292         | 96,005  | 4,367   |
|    | JPM ACTIVE VALUE USD-ETF                 | 96,658      | 6,684         | 34,410  | 2,499   |
|    | JPM AC ASIA PACIFIC EX JPN REI ACT-ETF   | 266,641     | 8,559         | 92,337  | 2,993   |
|    | JPM ACTIVE GROWTH-ETF                    | 75,603      | 6,635         | 24,939  | 2,172   |
|    | JPM GLOBAL SELECT EQ-ETF                 | 240,816     | 15,641        | 58,715  | 3,809   |
|    | JPM USD HIGH YIELD BOND ACTIVE UCITS-ETF | 819,063     | 8,636         | 397,044 | 4,274   |
|    | JPM EUR IG CORP BOND ACTIVE UCITS-ETF    | 58,970      | 7,339         | 58,970  | 7,442   |
|    | 小計                                       | 1,899,195   | 82,539        | 793,478 | 30,931  |
|    | ユーロ                                      |             | 千ユーロ          |         | 千ユーロ    |
|    | イタリア                                     |             |               |         |         |
|    | JPMORGAN EUR CORPORATE BOND RESE         | 59,743      | 6,449         | —       | —       |
|    | 小計                                       | 59,743      | 6,449         | —       | —       |
|    | その他                                      |             |               |         |         |
|    | JPMORGAN EUROPE REI ESG UCITS-ET         | 76,796      | 3,819         | 48,759  | 2,476   |
|    | 小計                                       | 76,796      | 3,819         | 48,759  | 2,476   |
|    | ユーロ小計                                    | 136,539     | 10,268        | 48,759  | 2,476   |
|    | イギリス                                     |             | 千英ポンド         |         | 千英ポンド   |
|    | JPM BETAB EUR GOVT UCITS-ETF             | 75,764      | 6,116         | —       | —       |
|    | JPMORGAN UK EQUITY CORE ACTIVE UCITS-ETF | 29,185      | 1,145         | 4,206   | 175     |
|    | 小計                                       | 104,949     | 7,262         | 4,206   | 175     |

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。表示単位未満の場合は小数で記載しております。  
(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

○利害関係人との取引状況等 (2025年5月29日～2026年5月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年5月29日～2026年5月28日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細 (2026年5月28日現在)

下記は、グランド・アセット・アロケーション・マザーファンド全体(11,376,912千口)の内容です。

国内投資信託証券

| 銘                                         | 柄                    | 当 期 末       |               |          |
|-------------------------------------------|----------------------|-------------|---------------|----------|
|                                           |                      | 口 数         | 評 価 額         | 比 率      |
| J P M J a p a n R E I E Q E T F ( a c c ) |                      | 口<br>67,950 | 千円<br>436,103 | %<br>3.4 |
| 合 計                                       | 口 数<br>銘 柄 数 < 比 率 > | 67,950      | 436,103       |          |
|                                           |                      | 1           | <3.4%>        |          |

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。  
(注) 口数に－印がある場合は組入れなしを表します。

外国投資信託証券

| 銘                                        | 柄             | 当 期 末     |        |            |      |
|------------------------------------------|---------------|-----------|--------|------------|------|
|                                          |               | 口 数       | 評 価 額  |            | 比 率  |
|                                          |               |           | 外貨建金額  | 邦貨換算金額     |      |
| (アメリカ)                                   |               | 口         | 千米ドル   | 千円         | %    |
| JPMORGAN USD IG CORPORATE BOND-ETF       |               | 91,782    | 11,557 | 1,845,220  | 14.3 |
| JPMORGAN BETABUILDERS US TREASURY BO-ETF |               | 88,227    | 9,436  | 1,506,602  | 11.7 |
| JPM GL EM REI ESG UCITS-ETF              |               | 34,372    | 1,809  | 288,934    | 2.2  |
| JPM ACTIVE VALUE USD-ETF                 |               | 62,248    | 4,822  | 770,036    | 6.0  |
| JPM AC ASIA PACIFIC EX JPN REI ACT-ETF   |               | 174,304   | 6,787  | 1,083,745  | 8.4  |
| JPM ACTIVE GROWTH-ETF                    |               | 50,664    | 4,955  | 791,186    | 6.1  |
| JPM GLOBAL SELECT EQ-ETF                 |               | 182,101   | 12,945 | 2,066,888  | 16.0 |
| JPM USD HIGH YIELD BOND ACTIVE UCITS-ETF |               | 422,019   | 4,673  | 746,093    | 5.8  |
| 小 計                                      | 口 数 ・ 金 額     | 1,105,717 | 56,988 | 9,098,708  |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 8         | —      | <70.6%>    |      |
| (ユーロ…イタリア)                               |               |           | 千ユーロ   |            |      |
| JPMORGAN EUR CORPORATE BOND RESEARCH-ETF |               | 59,743    | 6,501  | 1,205,829  | 9.4  |
| 小 計                                      | 口 数 ・ 金 額     | 59,743    | 6,501  | 1,205,829  |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 1         | —      | <9.4%>     |      |
| (ユーロ…その他)                                |               |           |        |            |      |
| JPMORGAN EUROPE REI ESG UCITS-ETF        |               | 28,037    | 1,515  | 280,994    | 2.2  |
| 小 計                                      | 口 数 ・ 金 額     | 28,037    | 1,515  | 280,994    |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 1         | —      | <2.2%>     |      |
| ユ ー ロ 計                                  | 口 数 ・ 金 額     | 87,780    | 8,016  | 1,486,823  |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 2         | —      | <11.5%>    |      |
| (イギリス)                                   |               |           | 千英ポンド  |            |      |
| JPM BETAB EUR GOVT UCITS-ETF             |               | 75,764    | 6,199  | 1,327,599  | 10.3 |
| JPMORGAN UK EQUITY CORE ACTIVE UCITS-ETF |               | 24,979    | 1,043  | 223,478    | 1.7  |
| 小 計                                      | 口 数 ・ 金 額     | 100,743   | 7,242  | 1,551,077  |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 2         | —      | <12.0%>    |      |
| 合 計                                      | 口 数 ・ 金 額     | 1,294,240 | —      | 12,136,609 |      |
|                                          | 銘 柄 数 < 比 率 > | 12        | —      | <94.1%>    |      |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
 (注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
 (注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。  
 (注) 口数にー印がある場合は組入れなしを表します。  
 (注) ( )内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ…その他」の欄に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2026年5月28日現在)

| 項 目          | 当 期 末      |       |
|--------------|------------|-------|
|              | 評 価 額      | 比 率   |
|              | 千円         | %     |
| 投資信託証券       | 12,572,712 | 96.6  |
| コール・ローン等、その他 | 439,077    | 3.4   |
| 投資信託財産総額     | 13,011,789 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。  
 (注) 当期末における外貨建純資産(12,525,471千円)の投資信託財産総額(13,011,789千円)に対する比率は96.3%です。  
 (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝159.66円、1ユーロ＝185.46円、1英ポンド＝214.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月28日現在)

| 項 目             | 当 期 末           |
|-----------------|-----------------|
|                 | 円               |
| (A) 資産          | 28,996,962,752  |
| コール・ローン等        | 402,350,509     |
| 投資信託証券(評価額)     | 12,572,712,360  |
| 未収入金            | 16,021,899,662  |
| 未収利息            | 221             |
| (B) 負債          | 16,103,245,802  |
| 未払金             | 16,100,981,916  |
| 未払解約金           | 2,263,886       |
| (C) 純資産総額(A－B)  | 12,893,716,950  |
| 元本              | 11,376,912,107  |
| 次期繰越損益金         | 1,516,804,843   |
| (D) 受益権総口数      | 11,376,912,107口 |
| 1万口当たり基準価額(C／D) | 11,333円         |

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| <注記事項>                   |                 |
| 期首元本額                    | 2,713,322,448円  |
| 期中追加設定元本額                | 9,320,548,114円  |
| 期中一部解約元本額                | 656,958,455円    |
| 元本の内訳                    |                 |
| JPモルガン・グランド・アセット・アロケーション | 11,376,912,107円 |

○損益の状況 (2025年5月29日～2026年5月28日)

| 項 目              | 当 期           |
|------------------|---------------|
|                  | 円             |
| (A) 配当等収益        | 42,898,637    |
| 受取配当金            | 27,215,077    |
| 受取利息             | 15,513,742    |
| その他収益金           | 169,818       |
| (B) 有価証券売買損益     | 989,858,741   |
| 売買益              | 1,614,175,831 |
| 売買損              | △ 624,317,090 |
| (C) その他費用等       | △ 4,267,029   |
| (D) 当期損益金(A＋B＋C) | 1,028,490,349 |
| (E) 追加信託差損益金     | 551,998,412   |
| (F) 解約差損益金       | △ 63,683,918  |
| (G) 計(D＋E＋F)     | 1,516,804,843 |
| 次期繰越損益金(G)       | 1,516,804,843 |

|                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。                          |
| (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。 |
| (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。           |

<約款変更のお知らせ>

・2026年4月1日付で、一般社団法人 投資信託協会と一般社団法人 日本投資顧問業協会は合併し、一般社団法人 投資信託協会は、一般社団法人 資産運用業協会に名称が変更されたため、信託約款に所要の変更を行っております。